

明日の暮らし、ささえあう

CO・OP 共済



CO・OP kyosai

事業のご報告

ANNUAL
REPORT
2025

日本コープ共済生活協同組合連合会

CO・OP共済のめざすもの

私たちはCO・OP共済によって、組合員相互の助け合いにより、組合員のくらしの中の各種の危険による経済的な損失を保障することを中心にして、組合員のくらしの向上に役立ち、生協の発展、協同組合運動の普及と豊かな社会づくりへの貢献をめざします。

1 CO・OP共済は、組合員のくらしに必要な保障を、より良い内容、より安い掛金で実現します。

- (1) CO・OP共済の開発・改善は、組合員のニーズを最大限に反映してすすめます。
- (2) より安い掛金で質の高い保障内容を追求し、生命・医療分野で組合員に一番に選ばれるCO・OP共済をめざします。

2 CO・OP共済は、共済金の支払いを受けた組合員の声の紹介や、共済の必要性を理解していただくことを通して、協同組合の基本的価値である相互扶助や協同の精神を育みます。

- (1) 多くの組合員に生協の理念と共済の加入を呼びかけて、組合員とのコミュニケーションをはかり、組合員と生協職員との信頼関係を高めます。
- (2) 組合員と職員とのコミュニケーションを促進し、組合員相互の助け合いのこころを育みます。

3 CO・OP共済は、健全で効率的な共済事業の運営と加入者の拡大により生協の社会的信頼を高めます。

- (1) 加入者の信頼にこたえるよう、安定的かつ効率的な事業運営をめざします。
- (2) 法令・社会的倫理を遵守し、適正な加入推進をすすめるCO・OP共済のコンプライアンス推進体制を強化していきます。

4 CO・OP共済は、組合員が共済や保険について学び合える機会をつくり、くらしに役立つ保障の選択ができる力を養います。

- (1) 組合員同士が学び合える機会をつくることで、私的保障や社会保障への関心を高めます。
- (2) 保障を中心とした組合員の学び合いをすすめ、くらしに合った適切な選択ができるよう支援します。
- (3) 学び合いが自主的、恒常的にすすめられるよう、生協の組合員や職員のなかにライフプランアドバイザーを育成しそのレベルアップをはかります。

5 CO・OP共済は、少子高齢化、健康、福祉の問題を積極的に受け止め、社会福祉活動・災害時の対応等の社会貢献をおこないます。

- (1) 地震等の異常災害時のお見舞金支払いに備えて継続的に積み立てを行い、全国で支援活動に取り組みます。
- (2) 加入者に対する還元方法の一つとして、事故予防運動や健康増進活動等のサービスを検討、実施します。
- (3) 加入者の理解を得ながら剰余金の一部を財源として社会貢献活動を行っていきます。

組織概要 (2025年3月20日現在)

- 組織名 ▶ 日本コープ共済生活協同組合連合会
略 称 ▶ コープ共済連／CO・OP共済連
設 立 ▶ 2008年11月5日
会員数 ▶ 357会員
所在地 ▶ 東京都渋谷区千駄ヶ谷4丁目1番13号



もくじ

ごあいさつ 2
CO・OP共済の加入者数の推移とあゆみ
CO・OP共済の2030年ビジョン

1	CO・OP共済とは	6
2	トピックス	8
3	2024年度の事業と経営の概況	13
4	CO・OP共済商品の紹介	21
5	CO・OP共済のご加入とお支払い	31
6	組合員の声にもとづく事業運営	33
7	大学生協での共済の取り組み	35
8	リスク管理・コンプライアンスの取り組み	36
9	組合員・利用者へのサポート	43
10	社会的取り組み	48
11	コープ共済連および子会社の組織概要	62
12	データ編	68
13	参考資料	107
14	CO・OP共済取り扱い会員生協一覧	110
15	用語解説	116

本誌について

本誌はCO・OP共済の事業の報告書です。
また、消費生活協同組合法第53条の2にもとづくコープ共済連のディスクロージャー資料です。

団体名称の表記について

コープ共済連は正式名称が「日本コープ共済生活協同組合連合会」、略称が「コープ共済連」「CO・OP共済連」です。日本生協連は正式名称が「日本生活協同組合連合会」、略称が「日本生協連」です。

最新情報につきましては、
CO・OP共済オフィシャルホームページをご覧ください。

<https://coopkyosai.coop>



ごあいさつ

2024年は元日に発生した能登半島地震をはじめ、その後も地震や豪雨、山火事などの自然災害が多く発生した1年となりました。ご挨拶に先立ち、罹災された方々に心よりお見舞い申し上げます。災害への備えの必要性を組合員に広げるとともに、被災地への継続的な支援を全国の生協と連帯して進めていきたいと思いをします。コープ共済連としても多くの組合員に「たすけあい」の気持ちを広げ、今後も地域の安心と安全、防災・減災に貢献していきたいと考えております。

さて、組合員の声から誕生したCO・OP共済ですが、現在に至るまで毎年多くの組合員から声を寄せていただいております。その声をもとにサービスの改善や商品改定をおこなっています。2024年9月には、『たすけあい』J1000円コース お誕生前申し込み」という加入制度を新たに開始しました。この制度は、子を想う親の心に寄り添った生協ならではの加入制度であり、

加入者はすでに1万5,000人を超えています(2025年7月時点)。引き続き、本制度を子育て世帯の支援につなげるべく、組合員だけでなく各地域の自治体や医療機関にも広くお伝えしてまいります。このように商品改定を継続できているのは、加入者の輪が大きく広がったことの成果です。改めて全国のCO・OP共済加入者の皆様に心より感謝申し上げます。

2025年は、2回目の国際協同組合年(IYC 2025)として協同組合の価値や役割の重要性を国内外で広げていく貴重な機会であります。国際連合は、持続可能な生産と消費、食料安全保障、気候変動対策、地域の人々への医療・福祉、働きがいのある人間らしい仕事の創出、全ての人が参加できる社会づくりなど、様々な分野で持続可能な開発目標(SDGs)に貢献している協同組合を高く評価し、その認知の向上と協同組合の振興のために、国際協同組合年を定めました。この機会を活かし、コープ共済連も協同組合の価値と役割を

CO・OP共済の加入者の推移とあゆみ

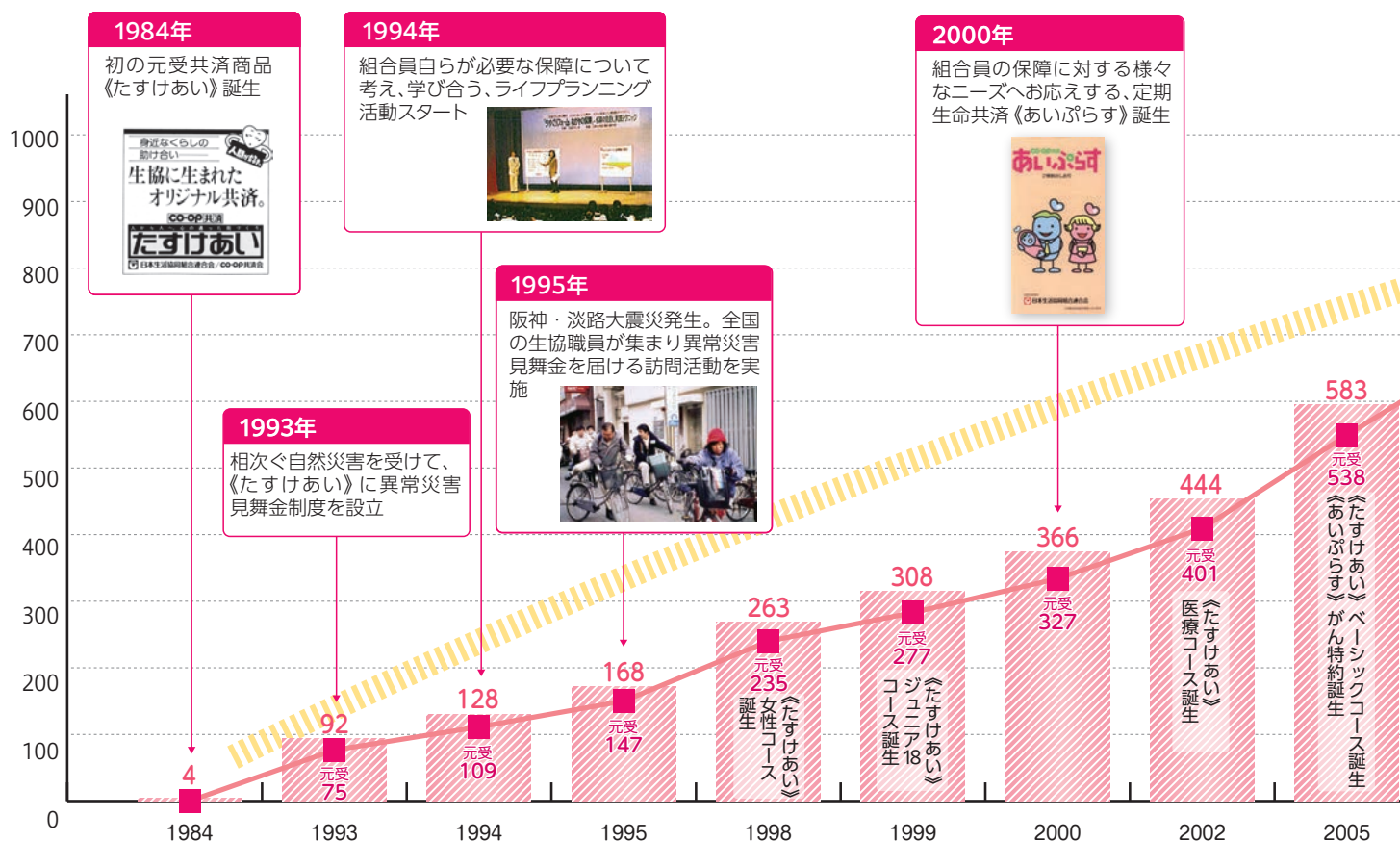
「組合員どうし困ったときは助け合いたい」という気持ちから生まれたCO・OP共済は、組合員の声をもとに、商品の見直しを重ね、たすけあいの輪を広げ、加入者数は2024年度末に982万人となりました。

※当冊子では、特にことわりがない場合は「加入者数」は元受共済の加入者数をさします。

▶ CO・OP共済合計／元受共済 加入者数の推移とあゆみ

※本項の「あゆみ」は概要です。詳細は参考資料(P.108-109)をご参照ください。

CO・OP共済合計 元受共済



広め、地域社会の発展により一層貢献してまいります。

世界に目を向けますと、国際情勢の悪化は続いています。2025年は被爆・終戦80年となる年でもあります。このような国際情勢の中で、私たち生活協同組合は地域社会の安定と福祉の向上に向けて、さらに努力を続けていく必要があります。CO・OP共済事業においても、協同組合の理念である「助け合い」の心を一層広げていく所存です。

コープ共済連は、引き続き全国の生協の組合員や会員生協の役職員とこれまでの歴史や大切にしてきた価値を共有し、2030年ビジョンの実現に向けて「わたしたちの共済」と思える姿と共感を醸成していきたいと思えます。今後もより便利でやさしさと安心を感じられるCO・OP共済を目指し、「共済中計2025」で掲げた課題を会員生協とともに推進します。そして組合員のくらしを支え続けるべく一人ひとりのお声に耳を傾けながら、組合員や地域の皆さまが安心して暮らせる地域社会づくりに貢献してまいります。

今後も、CO・OP共済に対する一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



日本コープ共済生活協同組合連合会
代表理事理事長
笹川 博子

2011年

組合員からの「一生継続保障を」の声を受け、終身共済《ずっとあい》誕生



東日本大震災発生。未曾有の被害を受け、全国の会員生協とともに支援を実施



2017年

高齢化の進むなか、元気な高齢者が活躍できる地域づくりを応援する「健康づくり支援企画」を開始



2022年

大学生協共済連から共済事業を譲受。大学生協の学生総合共済を元受に

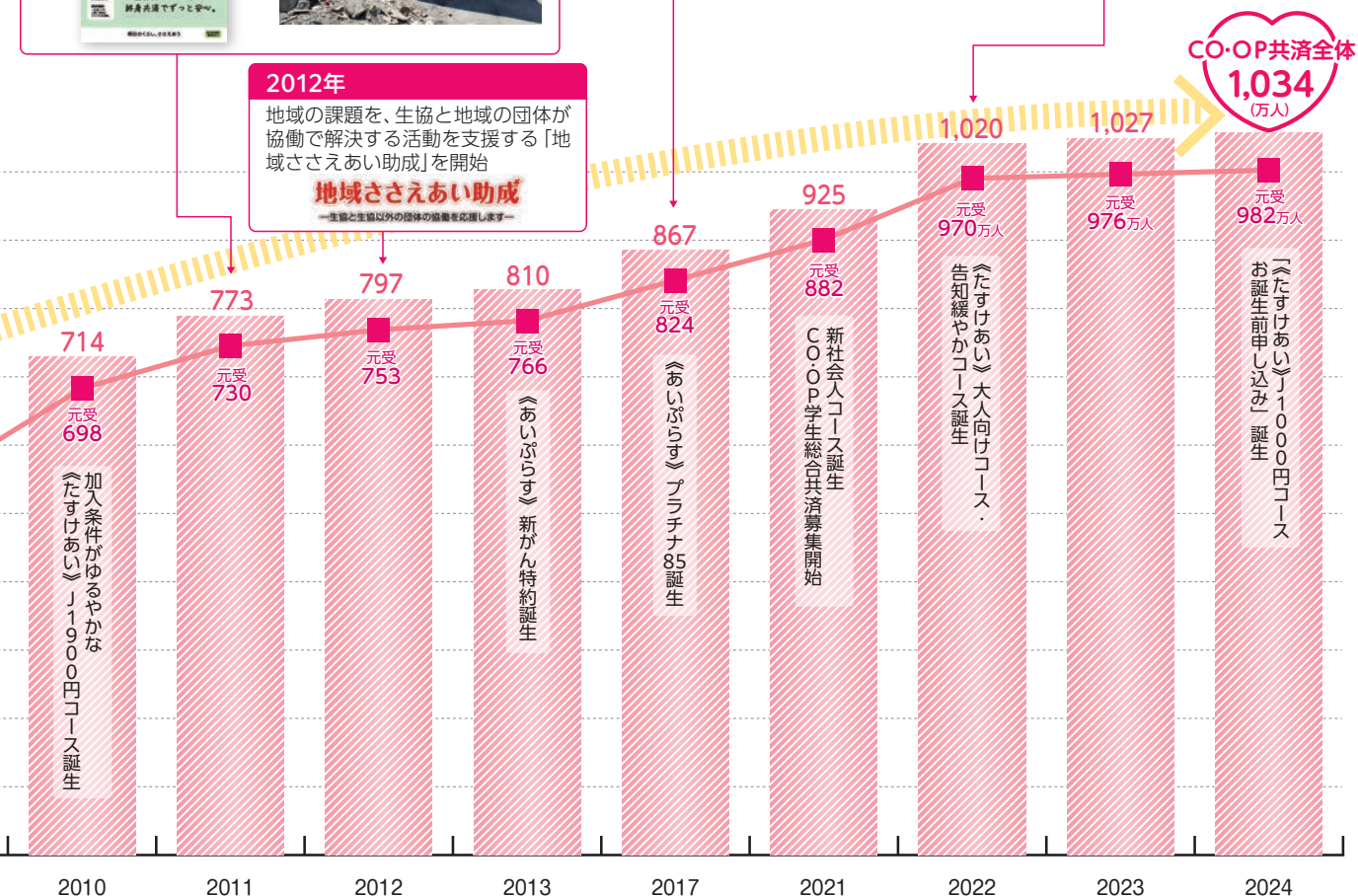


CO-OP 学生総合共済

2012年

地域の課題を、生協と地域の団体が協働で解決する活動を支援する「地域ささえあい助成」を開始

地域ささえあい助成
—生協と生協以外の団体の協働を応援します—



CO・OP共済の2030年ビジョン

CO・OP共済は、これからの10年を考えた新しい長期ビジョン「CO・OP共済2030年ビジョン」を策定しました。生協の保障事業として組合員の声をベースに、手ごろな掛金、いざというとき役に立つ保障内容、わかりやすい手続き、コスト低減といった改善を常にすすめながら、組合員とその家族に寄り添い役立ち続ける事業と活動を組合員と一緒につくっていきます。

一緒につくる **明日**の暮らし ～CO・OP共済2030～

CO・OP共済はみんなの力でつながり、ささえあい、
組合員と家族によりそい、新しい“たすけあいのかたち”と
よりよい明日の暮らしを一緒につくります。



大切にしたい5つのこと

組合員の参加と共感のエネルギーをかたちにし、組合員どうしのたすけあいであるCO・OP共済の良さや想いをより多くの組合員・職員に広めること。

参加と
共感

くらしを取り巻く環境が厳しいからこそ、くらしの安心保障を提供するCO・OP共済が役立つ場面が増えること。

特に、女性と子どもの保障に特徴を持つこと。

くらしへ
貢献

組合員のくらしや環境の変化をとらえ、役立ち続けられるように変わること、チャレンジすること。

変化への
対応

人口減の中、組合員の地域でのくらしを守るために、行政や他団体と連携し地域社会での役割発揮を高めること。

地域へ
貢献

明日のくらしをつくる安定した事業運営

保険業界の競争激化、IT技術による業界変革、人口減少・少子高齢化による推進へのマイナス圧力に向き合っていく中で変化への対応力を向上させること。



1 たすけあいの仕組みで、生まれる前から 一生涯の保障を提供できる姿 (商品開発課題)

- ①女性と子どもの保障に特徴を持ち、わかりやすく、シンプルな保障に進化します。
- ②学生から新社会人世代へのたすけあいの輪を広げます。
- ③人生100年時代にふさわしい高齢者の保障や健康づくり活動の充実をはかります。
- ④元受共済、受託共済、団体保険などをバランスよく取り扱い、組合員のくらしの総合保障の充実をめざします。

2 たすけあいの輪が広がっている姿 (推進課題と共同事業の課題)

- ①CO・OP共済未加入者へのお知らせと既加入者への対応をすすめます。
- ②年代ごとのおすすめ内容を明確化し、一生涯の保障を提案します。
- ③共済推進スタッフの体制づくり支援と教育研修制度の充実をはかります。
- ④組合員同士の情報発信を広げます。
- ⑤CO・OP共済のブランディングをととして認知度向上の活動を強化します。

3 組合員自らが「わたしたちの共済」 と思える姿 (組合員の参加と共感を広げる課題)

- ①組合員がCO・OP共済の運営に参加する場を広げます。
- ②共済事業を通じて組合員が社会貢献活動に参加する機会を広げます。
- ③会員生協の組合員活動への支援を強化し、学びあい、たすけあう活動の輪を広げます。

4 便利でやさしさと安心を感じる 手続きができる姿 (CO・OP共済らしい事務構築の課題)

- ①加入や保全*の場面での改善をすすめます。
- ②共済金のお支払いの場面での改善をすすめます。
- ③加入者からの問い合わせ対応や定期的な案内での改善に取り組みます。

*契約変更のお手続き

5 社会的役割発揮や生協事業の総合力発揮に貢献するCO・OP共済事業の姿 (事業としての役割発揮拡大・協同組合間協同の課題)

- ①くらしやすい地域社会の実現に向けCO・OP共済としての社会貢献活動に参加します。
- ②CO・OP共済のお役立ちの場面をより多角化する検討をすすめます。
- ③会員生協との共同事業と協同組合間協同を深めます。



6 職員がやりがいをもって 生き活きと働いている姿 (CO・OP共済を支える職員の育成課題)

- ①CO・OP共済ファンの職員を増やす取り組み*をすすめます。
- ②共済事業の専門性を高めるとともに、生協の現場を学び提案力を高めます。
- ③働き続けたい職場づくりをすすめます。

*職員間で組合員の声やCO・OP共済のお役立ちなどを共有する取り組み

7 安定した事業運営ができている姿 (事業運営課題)

- ①基幹システムの再構築など、CO・OP共済の事業基盤を強化します。
- ②BCP対策*を継続します。
- ③適切かつ安定的な事業運営を継続します。
- ④加入者が安心して加入し続けられるよう財務の健全性を維持・向上します。

*事業継続計画

1 生協、コープ共済連とは

✳ 生協とは

生協（消費生活協同組合）は、消費者どうしの結びつきによる非営利の協同組合であり、「消費生活協同組合法（略称：生協法）」にもとづいて設立されています。利用者である消費者自身が出資して組合員となり、意思決定や運営に参画して、よりよい暮らしを実現することをめざしています。

宅配や店舗での商品供給、共済、医療、福祉事業や、組合員どうしの助け合い活動、暮らしに関わる学習活動など、幅広く取り組んでいます。



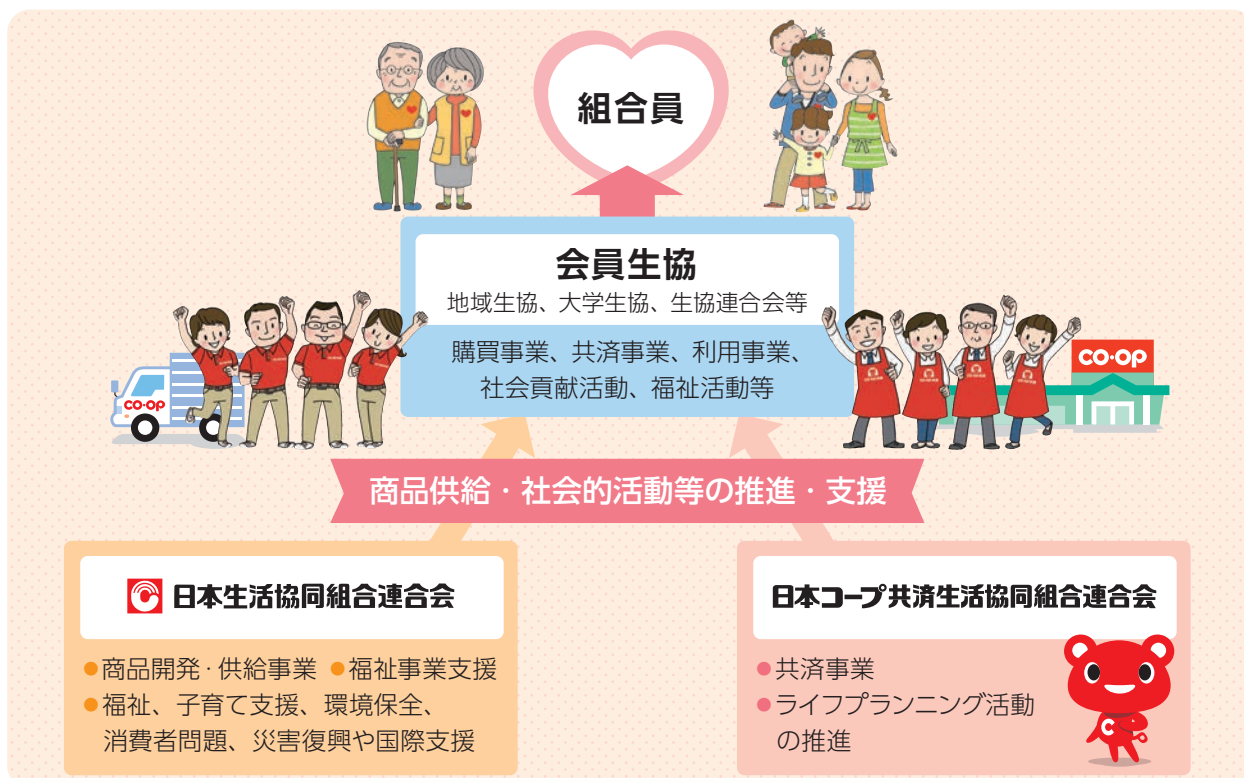
✳ コープ共済連とは

日本コープ共済生活協同組合連合会（略称：コープ共済連）が実施するCO・OP共済事業は、1979年、日本生協連の一事業としてはじまりました。

コープ共済連は、2007年の生協法改正に伴い、2008年11月に、CO・OP共済を取り扱う各地域の生協および日本生協連が共同して設立した共済事業を専業とする全国連合会です。

CO・OP共済を取り扱う各地域・大学の生協（および連合会）と、全国労働者共済生活協同組合連合会（こくみん共済 coop〈全労済〉）、全国大学生生活協同組合連合会（大学生協連）、日本生協連による計357の会員生協で構成されています（2025年6月13日現在）。

また、CO・OP共済事業は、日本生協連で実施する商品供給事業、福祉事業支援等の活動とも密接な関係を持ち、組合員のふだんの暮らしに役立つ事業をめざしています。



2 CO・OP共済は全国で加入できます

CO・OP共済は、主に地域の購買生協でご加入できます。ご加入いただく場合は、まず出資金をお支払いいただき、地域の生協の組合員になっていただきます。引越し等によって、やむを得ず生協を脱退する場合でも、転居先のCO・OP共済を取り扱っている生協で組合員になっていただければ契約を継続できます。

なお、CO・OP学生総合共済は、大学生協と地域生協でご加入いただけます。

3 元受共済と受託共済

CO・OP共済には、元受共済と受託共済があります。元受共済は、コープ共済連が契約引受団体となり、共済掛金を預かり、共済金を支払う責任を負う共済です。元受共済として、CO・OP共済《たすけあい》、CO・OP共済《あいづらす》、CO・OP共済《ずっとあい》終身生命〈低解約返戻金型〉・終身医療、CO・OP学生総合共済の5商品があります。《たすけあい》はご加入の生協により、その生協が加盟する連合会（生活クラブ共済事業連合生活協同組合連合会、パルシステム共済生活協同組合連合会、グリーンコープ共済生活協同組合連合会）とコープ共済連が共同で引き受け、各団体がそれぞれ共済金を支払う責任を負います。

元受共済だけではカバーできない分野の保障については、こくみん共済 coop〈全労済〉や損害保険会社等と提携して組合員に提供しています。

商 品 名		契約引受団体	取扱団体
元受共済	《たすけあい》	コープ共済連	会員生協
		コープ共済連・共同引受会員	会員生協
	《あいづらす》	コープ共済連	会員生協
	《ずっとあい》終身生命	コープ共済連	会員生協
	《ずっとあい》終身医療	コープ共済連	会員生協
	《学生総合共済》	コープ共済連	会員生協
受託共済	《新あいあい》	こくみん共済 coop〈全労済〉	会員生協
	《火災共済》	こくみん共済 coop〈全労済〉	会員生協
	《マイカー共済》	こくみん共済 coop〈全労済〉	会員生協

※CO・OP共済の保障責任については、各契約引受団体は連帯することなく、その引き受けに応じて単独で責任を負います。

1

「たすけあいの仕組みで、生まれる前から一生涯の保障を提供できる姿」を目指して

(1) 2024年9月より新たな制度ができました

■「お誕生前申し込み」を開始しました

2024年9月より、お母さんのお腹の中にいる赤ちゃんへの最初のお守りとして、生まれる前に《たすけあい》J1000円コースに申し込みができる「お誕生前申し込み」という加入申し込み制度を開始しました。妊娠中に申し込むことで、誕生後の赤ちゃんの健康状態に関わらず、生まれたその日から保障が受けられます。すでに、15,000人を超える赤ちゃんとそのお母さんに安心をお届けしています（2025年7月時点）。



《たすけあい》J1000円コース お誕生前申し込みは、CO・OP共済の医療保障《たすけあい》（※1）に加入中であり、満18～43歳（申込日時点）の妊婦さんがご利用いただける制度です。

<お申し込みに必要な条件>

- ・妊娠している胎児数が双子までの妊娠であること
- ・妊娠22週未満（申込日時点）（※2）であること
- ・上記を満たし、妊婦さんの健康状態についての告知事項（7項目）に該当がないこと

※1 告知緩やか1000円コース、J1900円コース、募集停止コースは除く。お誕生前申し込みと同時に新規・更改加入する場合も含む。

※2 妊娠日（最終月経開始日）から妊娠21週6日目まで。

～「お誕生前申し込み」ができるまで～

組合員



出産後すぐに子どもが入院してしまったので、二人目は早い段階で保障を考えてあげたい。妊娠中に加入し、子どもが生まれてすぐに保障が開始される商品があるとうれしい！

生協職員



妊娠中にお腹の赤ちゃんが加入できる制度があればお母さんの不安を軽減させ、生まれてすぐ何かあった場合にもお役立ちすることができる！

全国の組合員・生協職員の声が集まって…

《たすけあい》J1000円コース お誕生前申し込み がスタート！！

- ポイント1** 赤ちゃんの健康状態に関わらず申し込める
- ポイント2** 妊娠中から申し込みできて、生まれた日から保障がはじまる！
- ポイント3** お申込み手続きは「専用サイト」から、カンタン2ステップ！

■ 不妊治療中の方もご加入いただきやすくなりました

2024年9月より、不妊治療（不妊症）を原因として告知事項に該当している場合も、一定の条件を満たすことでご加入いただけるようになりました。

CO・OP共済は、一人でも多くの方へ保障という安心を届けられるよう、全国の生協職員とともに組合員のみなさまの声に耳を傾け、お役立ちできるよう邁進してまいります。

（2）「新社会人コース」へは事前申し込みが可能です

CO・OP学生総合共済は、卒業予定年月の末日で保障が終了しますが、卒業時に手続きをおこなうことで、健康状態に関わらず同じ掛金の「新社会人コース」へ継続することができます。2024年度の入学シーズンでは、大学生協に加入した新入生の61.4%にあたる14.5万人が学生総合共済に加入、2024年度末の卒業シーズンには、学生総合共済加入者のうち27.3%にあたる42,746人が新社会人コースに更新・継続しています。



CO・OP学生総合共済から新社会人コースへの継続には、CO・OP学生総合共済へ加入と同時に、新社会人コースへの事前申込をすることもできます。新社会人コース加入者のうち、31.8%にあたる13,580人が事前申込により、卒業後保障が途切れることなく新社会人コースに更新・継続しています。

CO・OP共済と全国の生協は力を合わせ、卒業後新たなステージにすすむ若者が安心して過ごせるようサポートし続けてまいります。

新社会人コースへ更新・継続した組合員の声

新社会人になる子どもが、一人暮らしを始めるようになり、保障の心配をしていたところ、学生の時とほぼ同じ保障を手頃な掛金で継続できる点が、素晴らしいと思いました。

学生の頃に手術、入院をし、学生総合共済にお世話になりました。保障内容が手厚く、もしもの時に入っておくと心強いと思い、新社会人コースにも加入させていただきました。

（3）CO・OP共済の事業継続のため、複数拠点化を進めています

新型コロナウイルス感染症のパンデミック対応の教訓から、大規模災害や感染症対策として複数拠点でCO・OP共済事務を継続できるように取り組んでいます。2024年度は契約管理業務および共済金支払業務について、関東と関西の二拠点化を進めました。他にもお問い合わせを受け付けるコールセンターはすでに複数拠点で運営し、各地区にある事業所でも、有事の際に事業を継続できるよう訓練を継続しておこなっています。CO・OP共済は、今後も安定した業務運営のための対策を進めてまいります。

2

CO・OP共済40周年記念企画を実施

(1) 2024年は《たすけあい》誕生から40周年

CO・OP共済誕生（1984年）から40周年を記念して、全国の生協とともにさまざまな企画を実施しました。

■ コープ共済40周年記念サイトを開設

各商品・コースの誕生エピソードや歴史、想いなどを交えた「CO・OP共済のあゆみ」を紹介したほか、テレビCMとして放映した「CO・OP共済40周年 ひとりを見つめる篇」のスペシャルムービーを公開しました。



■ 各種イベントを実施

SNSを活用したお絵描き募集企画やLINEスタンプの提供、参加型のコーすけグッズ制作等をおこないました。

(2) 組合員同士の学びあい「ライフプランニング活動」は30周年

ライフプランニング活動開始から30周年を記念し、池上彰氏と考える「全国版くらしの見直し講演会」を品川にて開催しました（2025年2月8日（土））。第1部は「歴史から読み解く生き抜く力～最近のニュースや出来事から私たちのこれからのくらしを考える～」、第2部は「学びの重要性・生き抜く力～なぜ私たちは働くのか～」と題し、社会や経済が大きく変化する中で、生きていくために求められる力についてお話いただきました。参加者は品川会場、サテライト会場、オンラインを含め1,383名にご参加いただきました。

参加者の声

(第1部 参加者の声)

- ・ 現在世界で起こっていることの背景がよくわかった。自分達の暮らしを考える拠り所の再確認ができた。
- ・ 分断ではなく助け合うことが大切な理由を、今の社会の動きに沿ってわかりやすく知ることができた。

(第2部 参加者の声)

- ・ 池上さんの講演会は大変興味深く、学びに対する意欲が喚起されました。
- ・ この時代だからこそ、たすけあう気持ちと、豊かな日本教育と食があると実感しました。



3

CO・OP共済と生協のさまざまな社会貢献活動

(1) 令和6年能登半島地震および能登半島豪雨災害への活動

2024年1月1日に発生した能登半島地震の被害を受けた方へ、見舞金として2025年3月20日までに3,527世帯 7,803万円をお支払いしました。また、2024年9月21日から23日に発生した能登半島豪雨で被害を受けた方に共済金・見舞金をお届けするため、2日間で134世帯を訪問し、異常災害見舞金の請求受付をおこないました。

(2) 支援を必要とする子ども・学生を支える寄付プロジェクトを実施

コープ共済連では2020年から「共済マイページお手続きでOnline たすけあい～子ども・学生未来応援プロジェクト～」を継続しています。共済マイページに利用登録または共済マイページで対象となるお手続きをおこなっていただいた件数に応じ、1件につき30円を寄付するプロジェクトです。

2024年度は多くの加入者にご協力いただいた結果、750万円をコープ共済連から子どもや学生を支援する2団体（一般財団法人 全国大学生協連奨学財団（たすけあい奨学制度）および日本生活協同組合連合会『「子どもの貧困」支援活動への応援助成』）へお届けすることができました。



(3) 4回目となる育児あるある川柳～「プレママ・パパ賞」を新設しました～

「さまざまな育児の形を応援し、暮らしに寄り添うCO・OP共済」をコンセプトに2021年度からはじまった「CO・OP共済 育児あるある川柳」は、2024年度で4回目となり、過去最多となる、41,118件のご応募をいただきました。

お誕生前申し込みの制度開始を記念し、新たに「プレママ・パパ賞」を新設し、「プレママ・プレパパあるある」をテーマとした川柳も募集しました。

最優秀賞の「ブレイキン？寝っ転がって駄々こねる」は2024年パリオリンピックにおいてはじめて追加された種目にかけて、苦労も多い子育てをユーモラスに川柳として表現されています。応募総数も年々増加し、プレママ・パパからおじいちゃん・おばあちゃんまで幅広い世代にも応募いただきました。

CO・OP共済はこれからも子育て世帯を広く応援し、新しい「たすけあいのかたち」とよりよい明日の暮らしを一緒につくってまいります。



▲最優秀賞



▲優秀賞



▲プレママ・パパ賞

(4)「みんなのよみきかせ絵本大賞」

コープ共済連は、日本生活協同組合連合会や生活協同組合コープさっぽろ、日本出版販売株式会社、株式会社絵本ナビとともに「みんなのよみきかせ絵本大賞」を開催しました。本大賞は、「絵本のよみきかせが好きな人が、今一番よみきかせたい絵本を選ぶ」をコンセプトに、これからの未来を担う子どもたちのために絵本を選出、表彰するというもので、「園児さんと先生でえらぶ！よみきかせ絵本部門」「絵本大好きさんがえらぶ！よみきかせ絵本部門」の2部門で2025年10月にそれぞれ大賞を決定します。



「園児さんと先生でえらぶ！よみきかせ絵本部門」では応募いただいた全国の保育園・幼稚園・こども園などの保育施設へ絵本20冊をお送りし、実際に「よみきかせ」をおこない、その中から1冊を投票いただくことで、「絵本のよみきかせ」のすばらしさを伝えます。

CO・OP共済はこれからも子育てにかかわる組合員のみなさまを応援し、新しいたすけあいのかたちをつくってまいります。

(5) 全国高校サッカー選手権大会 夢に向かって頑張る学生とご家族への支援を継続

コープ共済連は、「支えるというナイスプレーがある」をキャッチコピーに、頑張るお子様とご家族を支えたいという想いから、「第103回全国高校サッカー選手権大会」に協賛しました。2021年度の第100回大会から、4度目の協賛となります。

2023年度に続き、全国大会全試合（2024年12月28日～2025年1月13日）のテレビ放映時に大会応援CMの放映をしたほか、1月13日（月）に実施された決勝戦では、コープ共済連職員が来場者に応援グッズを配布し、懸命にプレーする選手たちを応援しました。



©全国高体連サッカー専門部記録部

(6) 障がい者スキー さっぽろスノースポーツパーク2025と2つの大会に協賛しました

コープ共済連は、全国の組合員に障がい者スキーの活動を広く知っていただき、支援の輪を広げることで、障がい者スポーツの発展に貢献することを目的に、日本障害者スキー連盟のゴールドパートナーとして継続的にパラスキーを支援しています。2024年度は、「パラノルディックスキーアジアカップ札幌大会」「第3回全日本知的障害者スキー競技大会」「さっぽろスノースポーツパーク2025」に協賛しました。

「さっぽろスノースポーツパーク2025」では、クロスカントリー競技大会だけでなく、子どもたちがスキーやカーリングなどを教わりながら体験する等、街をあげてスノースポーツを盛り上げました。

コープ共済連は、今後もスポーツを通じた社会貢献を続け、助け合い、支えあう社会をつくってまいります。



1 2024年度における事業の概況

2024年度のCO・OP共済事業は、加入者数が982万人に達し、受入共済掛金は225,109百万円（前年比100.6%）となりました。共済金の支払いは158万件、85,608百万円（前年比100.8%）となりました。

(1) 損益全体の概況

経常収益は、予算を下回り261,271百万円となりました。受入共済掛金は、予算を1,510百万円下回り（予算比99.3%、前年比100.6%、前年差+1,245百万円）、資産運用収益は、予算を649百万円上回りました（予算比125.6%）。

経常費用は、支払共済金が予算を853百万円上回る結果となり、共済契約準備金繰入額は予算を879百万円上回りました。また、事業経費は人件費が予算差△9百万円、物件費が予算差△867百万円、共済委託手数料が予算差△681百万円、合計で予算を1,558百万円下回る結果となりました。

経常剰余金は、予算を2,664百万円下回り、47,338百万円の実績となり、特別損益として、異常災害見舞金・ストーカー被害見舞金および価格変動準備金繰入額等を計上し、結果、税引前当期剰余金は46,338百万円となりました。

法人税等、法人税等調整額、割戻準備金繰入額等を計上し、当期剰余金は5,297百万円となり、結果、当期末処分剰余金は6,326百万円となりました。

(2) 課題の到達点

2024年度はCO・OP共済40周年を記念し、40周年記念サイトや各種ツールをリリースしたほか、全国の会員生協とともに推進力回復を最優先課題と位置づけ、モデル生協や先進生協の取り組みの成果を全国に共有しました。

- ①商品開発課題：2024年度商品改定として、9月より「お誕生前申し込み」と「条件付加入制度：不妊治療」を実施。「お誕生前申し込み」は、全国の生協の役職員の取り組みや組合員の参加による《たすけあい》の加入者の輪の広がりや、組合員・役職員の“一人でも多くの方が加入できる共済を実現したい”という想いにより実現。
- ②推進課題・共同事業の課題：2024年度の新規加入者数は424,201人（計画比79.5%、前年比96.6%）となり、計画比・前年比ともに下回る結果に。インターネット共済加入は、年度累計で83,652件（計画比86.3%、前年比113.7%）。「お誕生前申し込み」に合わせ、「子ども向け保障と言えばCO・OP共済」と想起できるように、人気作品（コウノドリ 講談社）とのタイアッププロモーションを実施。
- ③組合員の参加と共感を広げる課題：ライフプランニング活動30周年の企画として、池上彰氏と考える「全国版くらしの見直し講演会」を開催。共済マイページを通じて寄付をおこなう取り組みを継続。
- ④CO・OP共済らしい事務構築の課題：大規模災害や感染症対策として、西日本共済事務センターへの契約事務管理業務の運営体制を強化。年次通知（割戻通知書 兼 控除証明書）を活用して契約者の属性にあった情報提供を実施。
- ⑤共済事業としての役割発揮拡大・協同組合間協同の課題：「地域ささえあい助成団体交流会」や「健康づくり支援企画取り組み交流会」を開催。コープさっぽろと日本生協連が主催する「みんなのよみかせ絵本大賞」に協賛し、全国の幼稚園・保育園・こども園などに絵本を寄贈。
- ⑥CO・OP共済を支える職員の育成課題：組織的な課題に対するプロジェクトチームを設置・検討し、失敗を恐れずチャレンジすることが評価される組織風土づくりの推進。
- ⑦事業運営課題：「共済事業システムのグランドデザイン」をもとに、商品開発・改定を効率的に実施できる保守性の高いシステム構成への再構築を進行中。
- ⑧DX推進の取り組み：保障の見直しなどの相談希望をWeb上で受け付け会員生協に情報連携する仕組みの開発やインターネット共済加入の手続き導線の改善。
- ⑨大学生協との連携：卒業生向けのセミナーでLP（ライフプランニング）活動として地域生協と大学生協の相互連携・協同の取り組みを促進。

■ 主要な業務の状況を示す指標

(単位：百万円 / 百万円未満切り捨て)

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
経常収益	238,452	244,658	251,560	240,353	261,271
経常剰余金	53,873	44,188	△ 24,166	43,827	47,338
当期剰余金	11,851	7,971	△ 19,304	10,534	5,297
出資金	63,359	63,362	63,384	63,383	63,384
出資口数(単位:口)	633,596	633,626	633,845	633,832	633,841
純資産額	163,576	169,686	147,031	158,906	161,873
総資産額	492,945	523,434	492,497	545,789	580,117
責任準備金残高	199,460	218,494	240,348	262,349	284,448
貸付金残高	—	—	440	—	—
有価証券残高	225,458	255,488	260,654	325,122	347,779
支払余力比率(%)	1539.2	1586.7	1234.1	1294.9	1327.1
剰余金配当の金額(出資配当金)	760	760	—	760	760
職員数(単位:人)	1,328	1,548	1,647	1,622	1,623
保有契約高(単位:億円)	128,524	130,863	150,538	150,709	150,735

注1. 支払余力比率は、通常の予測を超えたリスクに対応できる「支払余力」を有しているかどうかの指標です。「消費生活協同組合法施行規則ならびに施行規程」に定める方法にもとづいて算出しており、上記比率は200%以上必要とされています。生命保険会社、損害保険会社のソルベンシーマージン比率とは単純に比較できません。

2. 職員数は、外部への出向者、日本生協連・会員生協・他団体からの出向者、嘱託職員、派遣スタッフを含みます。

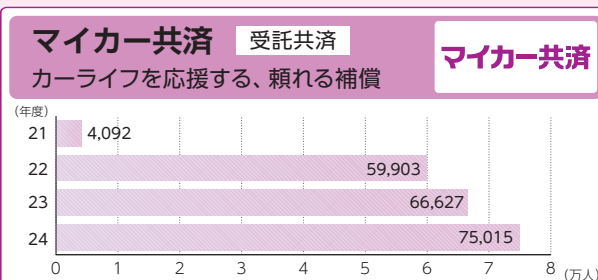
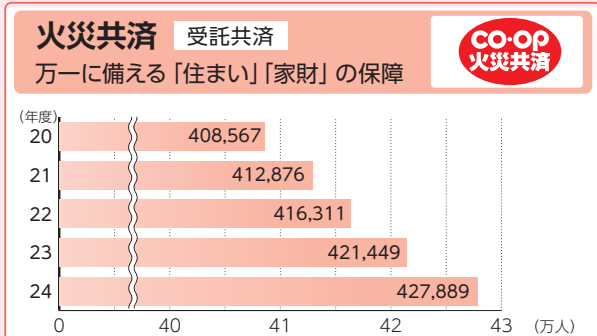
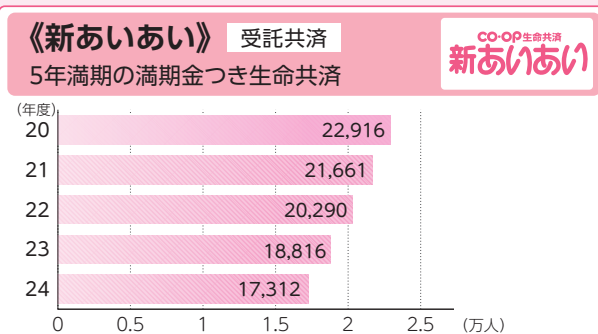
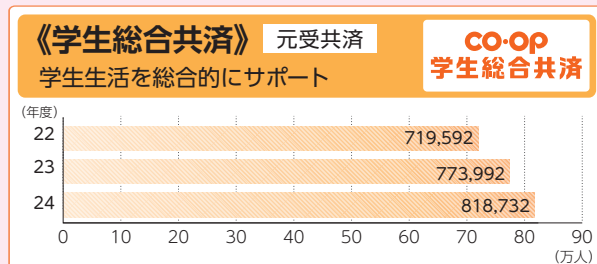
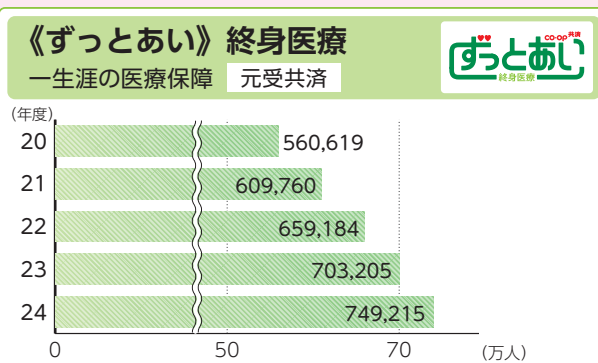
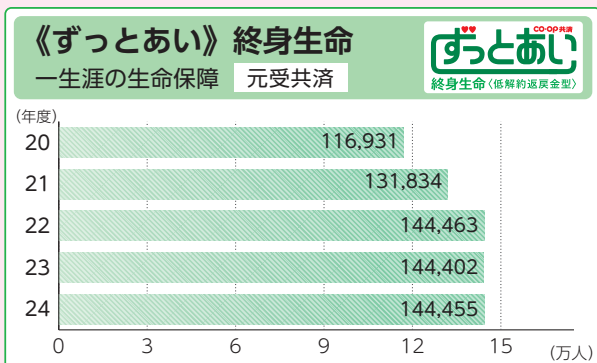
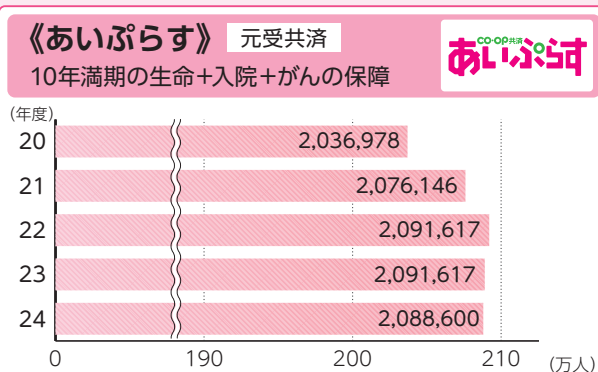
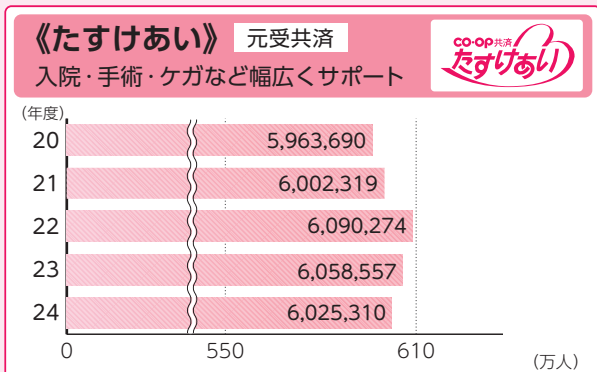
2 CO・OP共済事業の経過と実績

加入者数

CO・OP共済 8商品加入者数 **1,034万人**
元受5商品加入者数 **982万人**

加入者数は7万人増加し、8商品合計で1,034万人（前年比100.7%）となりました。うち、CO・OP共済《たすけあい》602万人、CO・OP共済《あいぷらす》208万人、CO・OP共済《ずっとあい》終身生命14万人、CO・OP共済《ずっとあい》終身医療74万人、《学生総合共済》81万人となり、元受共済合計で982万人（前年比100.6%）となりました。

加入者の推移

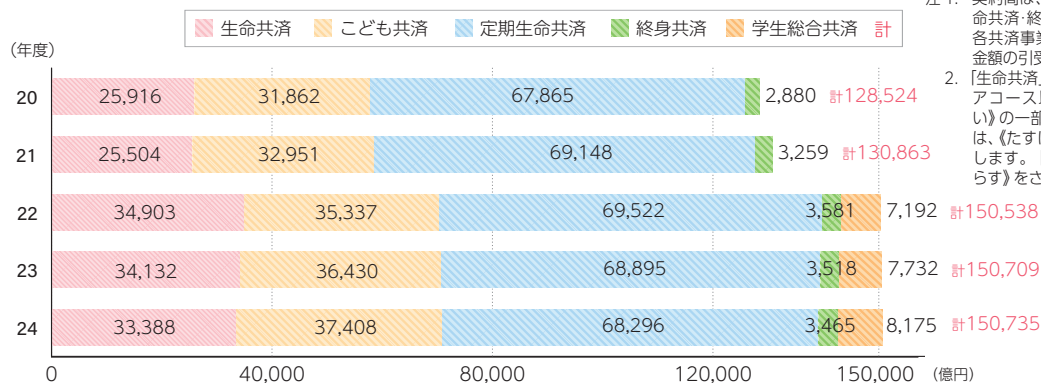


契約高

保有契約高 **15兆735億円**

CO・OP共済の保有契約高(元受共済)は、15兆735億円(前年比100.0% 25億円増)となりました。

元受共済契約高の推移



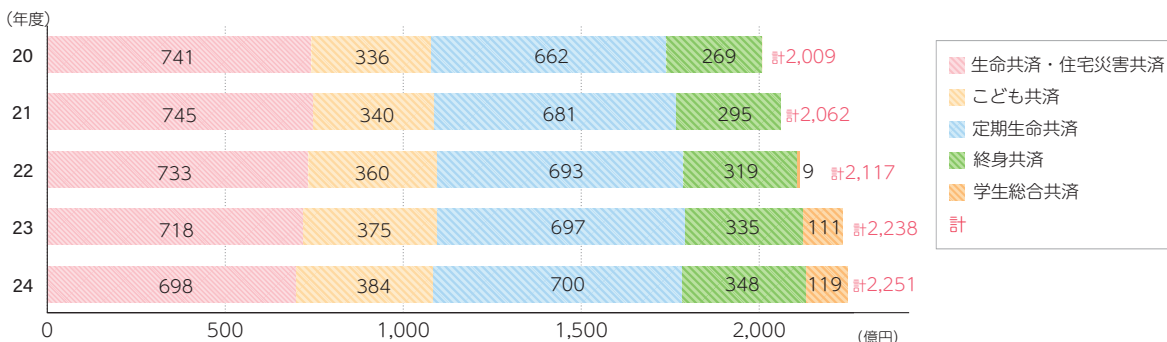
注1. 契約高は、生命共済・こども共済・定期生命共済・終身共済および学生総合共済の各共済事業における死亡・重度障害共済金額の引受額の合計です。
 2. 「生命共済」とは、「たすけあい」のジュニアコース以外のコースおよび《あいあい》の一部をさします。「こども共済」とは、「たすけあい」のジュニアコースをさします。「定期生命共済」とは、「あいあらず」をさします。「終身共済」とは、「ずっとあい」をさします。「学生総合共済」とは、「学生総合共済」および《あいあい》の新社会人コースおよび短期生命共済をさします。
 3. CO・OP共済全体(CO・OP共済グループ全体)実績は参考資料をご参照ください。

共済掛金

受入共済掛金 **2,251億円**

CO・OP共済の受入共済掛金(元受共済)は、2,251億円(前年比100.6% 12億円増)となりました。

元受共済受入共済掛金の推移



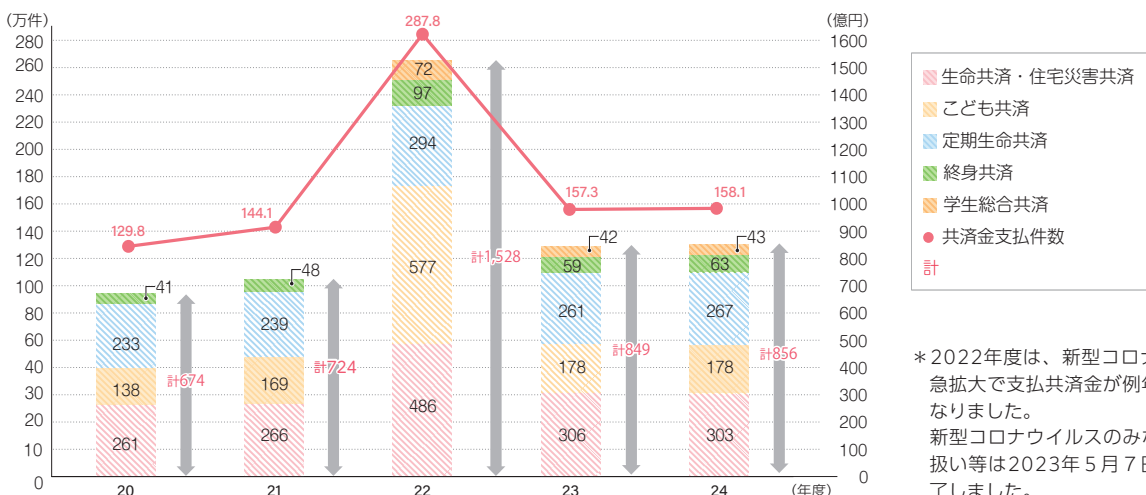
共済金

支払共済金 **158万1,301件 856億円**

CO・OP共済の共済金支払件数(元受共済)は、158万1,301件(前年比100.5% 8,216件増)となりました。

CO・OP共済の支払共済金額(元受共済)は、856億円(前年比100.8% 6億円増)となりました。

共済金支払件数と支払共済金額の推移



* 2022年度は、新型コロナウイルスの急拡大で支払共済金が例年の2倍強になりました。新型コロナウイルスのみなし入院の取扱い等は2023年5月7日をもって終了しました。

3 経営概況

財務概況

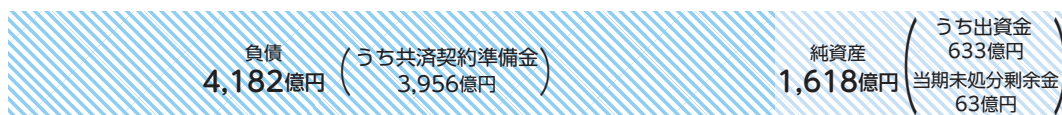
◆ 資産および負債・資本の状況（2025年3月20日現在）

（億円未満切り捨て）

資産 5,801億円



負債と純資産 5,801億円

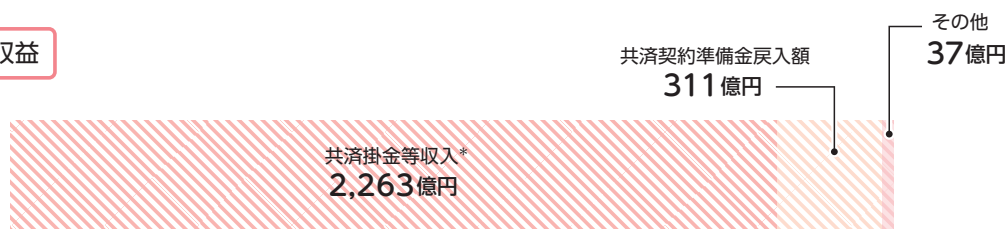


損益概況

◆ 収入および費用の状況（2024年3月21日～2025年3月20日）

（億円未満切り捨て）

収益



* 共済掛金等収入には、受入共済掛金のほか、受入共済金、受入受託手数料を含みます。

費用および剰余金



※ 割戻準備金より、契約者に割戻しをしています。

* 共済金等支払額には、支払共済金のほか、支払共済掛金、支払返戻金、支払割戻金を含みます。

剰余金処分

2024年度決算後の剰余金処分は以下のとおりです。

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

	2023年度	2024年度
当期末処分剰余金	11,021	6,326
剰余金処分額	10,492	6,057
法定準備金	2,110	1,060
出資配当金	760	760
任意積立金	7,622	4,236
次期繰越剰余金	528	269

支払余力比率

支払余力比率は、1327.1%となり、十分な支払余力を備えています。

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

項 目	2023年度	2024年度
支払余力総額(A)	228,715	236,085
リスクの合計額(B)	35,324	35,579
支払余力比率(C) = (A) / {(B) × 1/2} × 100	1294.9%	1327.1%

注1. 上記比率は、通常の予測を超えたリスクに対応できる「支払余力」を有しているかどうかの指標です。消費生活協同組合法施行規則第166条の2、第166条の3および消費生活協同組合法施行規程第4条の2から第4条の5までの規程に定める方法にもとづいて算出しており、上記比率は200%以上必要とされています。

2. 生命保険会社、損害保険会社のソルベンシーマージン比率とは単純に比較はできません。

基礎利益

基礎利益は、以下のとおりです。

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

区 分	2023年度	2024年度
基礎利益	49,577	50,975
利差益	△ 131	418
危険差益	46,406	46,237
費差益	3,302	4,318

注1. 基礎利益は、損益計算書の「経常剰余」から有価証券売却損益などの「キャピタル損益」および異常危険準備金繰入額などの「臨時損益」を除いて算出され、共済事業の基礎的な期間収益の状況を表す指標です。

2. 利差益、危険差益、費差益について

利差益：想定した資産運用益（予定利率）と実際の運用収益との差額

危険差益：想定した共済金支払額（予定危険率）と実際に発生した共済金支払額との差額

費差益：想定した事業費（予定事業費率）と実際の事業費との差額

4

割戻金の状況

CO・OP共済では、年度決算で生じた剰余金を契約者に割戻ししています。
各事業規約における契約者割戻準備金は、以下のとおりです。

CO・OP共済《たすけあい》

◎ 生命共済・住宅災害共済(ジュニアコース以外のコース)、こども共済(ジュニアコース)

2024年度の生命共済・住宅災害共済・こども共済における契約者割戻金の額は全体で220億200万円です。

■ 事業規約別の割戻準備金

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

規 約 名	2023年度	2024年度
生命共済事業*	11,555	14,302
住宅災害共済事業	53	159
こども共済事業	5,948	7,541
合 計	17,556	22,002

*生命共済事業には、CO・OP共済《あいぷらす》プラチナ85に付帯する先進医療特約を含みます。

CO・OP共済《あいぷらす》

◎ 定期生命共済

共済契約ごとの契約者割戻金の額は、加入コース、年齢、性別等によって異なり、原則として満期まで積み立ててお支払いします。

2024年度は、148億9,600万円を積み立てました。

■ 割戻準備金

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

規 約 名	2023年度	2024年度
定期生命共済事業	14,211	14,896

CO・OP共済《ずっとあい》

◎ 終身共済

共済契約ごとの契約者割戻金の額は、加入コース、年齢、性別等によって異なり、原則として契約終了まで積み立ててお支払いします。

2024年度は、16億3,800万円を積み立てました。

■ 割戻準備金

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

規 約 名	2023年度	2024年度
終身共済事業	671	1,638

CO・OP 学生総合共済

◎ 学生総合共済

2024年度の割戻金はありません。

5 資産運用状況

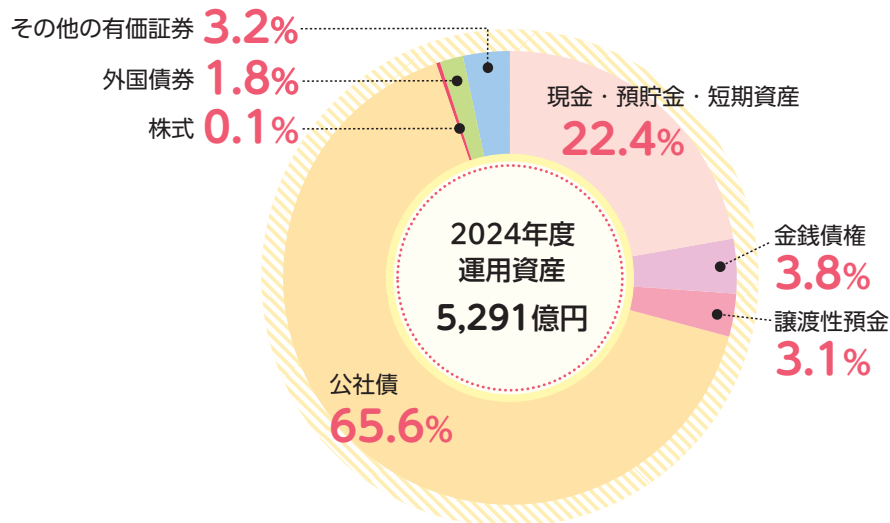
コープ共済連では資産運用方針に沿って、健全な運用に努めています。

資産運用方針

- ① コープ共済連では、CO・OP共済ご契約者の皆様からお預かりした資金を、「消費生活協同組合法施行規則」に基づき、安全かつ効率的に運用を行います。
- ② 市場価格の変動リスクや信用リスク等の資産運用に関わる各種リスクについては、資産運用リスク管理規程において、それぞれのリスク管理方法を定め、またALM(資産と負債の総合管理)の観点から負債特性を踏まえ、適切な管理を行います。
- ③ 資産運用にあたっては、資金の特性に応じ、預貯金や公社債といった安全資産を軸とした適切な運用・管理を実施します。

■ 運用資産の状況

運用資産は、5,291億円となりました。その内訳は、現金・預貯金・短期資産が22.4%、金銭債権は3.8%、譲渡性預金は3.1%、公社債が65.6%などで構成されています。



■ SDGs債への投資

コープ共済連では、2017年度からSDGs債*への投資を開始しました。

以降、徐々に取り組みを拡大し、2025年3月時点で265億円の保有残高となっています。今後もSDGs債への投資を継続的に実施することによって、持続可能な社会の実現に貢献できるよう取り組んでまいります。

* 債券の発行によって調達した資金の使途を環境課題の解決に資する事業に限定した「グリーンボンド」、資金使途を社会的課題の解決に限定した「ソーシャルボンド」、環境と社会両面の持続可能性に貢献する「サステナビリティボンド」など、これらは国連の持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献する債券であるとしてSDGs債と総称されています。

CO・OP共済商品の紹介

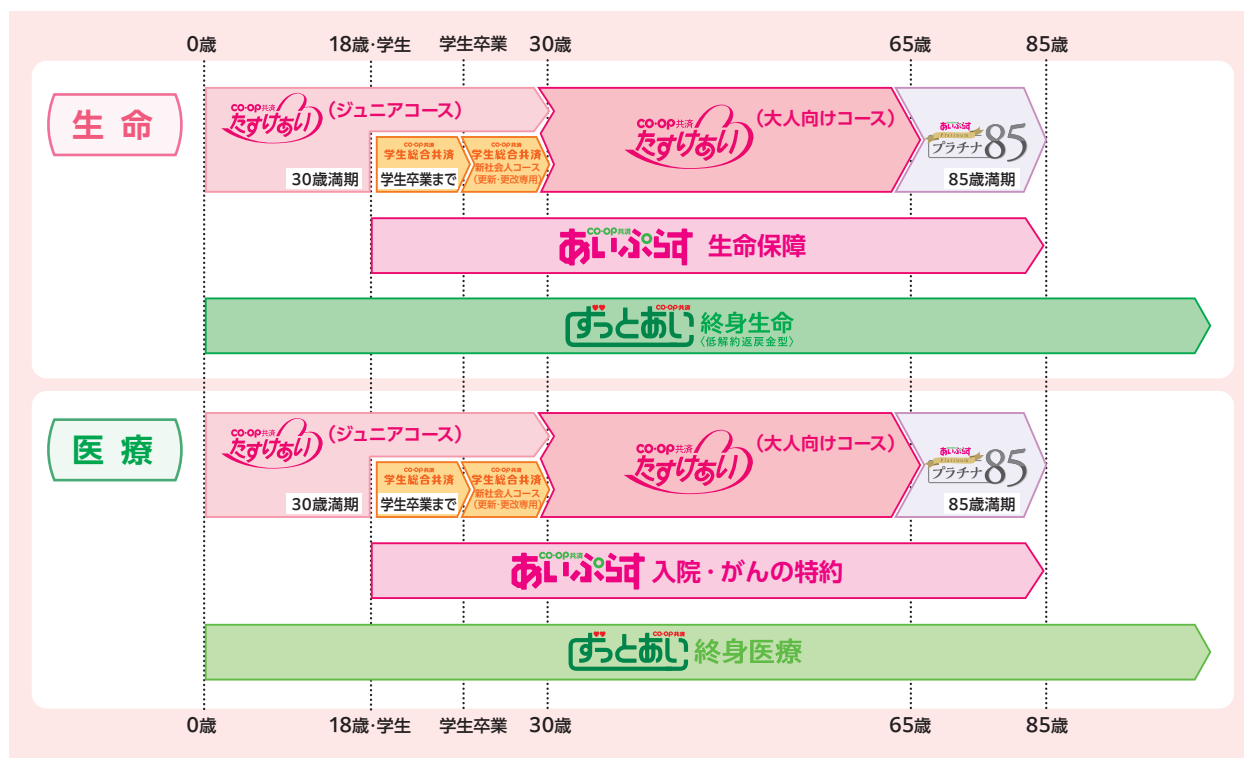
CO・OP共済では、生命・医療の保障である《たすけあい》、《あいぷらす》、《ずっとあい》、《学生総合共済》、《新あいあい》と、住まいと家財の万が一に備える《火災共済》、車の補償である《マイカー共済》を取り扱っています。ご家族一人ひとりにあった商品、コースをお選びいただけます。

■ 商品ラインナップ



■ 生命・医療に関する保障イメージ

CO・OP共済は0歳から加入でき、加入者の一生涯の保障を提供しています。



CO・OP共済《たすけあい》（生命共済・住宅災害共済・こども共済）



入院、ケガによる通院など“生きていく中で必要な保障”を手頃な掛金で充実させた共済商品です。家族死亡や住宅災害の保障もついて（ジュニアコースを除く）、幅広い場面で加入者のお役に立っています。

ジュニアコース

入院や子どもに多いケガの保障が充実

■ 加入できる年齢（発効日時点）／性別 → 0歳～満19歳*1／女性・男性

■ 保障期間 → 満30歳の満期日まで
※大人向けコース等で保障が続けられます。

保 障 内 容	J1000円コース 月掛金1,000円	J2000円コース 月掛金2,000円	J1900円コース 月掛金1,900円
病気入院・事故(ケガ)入院 (1日目から360日分)	日額 6,000円	日額 10,000円	日額 5,000円
事故(ケガ)通院*2 (事故日から180日以内 1日目から90日分)	日額 2,000円	日額 3,000円	日額 2,000円
手 術 (共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合)	手術の内容により金額が変わります 1・5・10・20万円	手術の内容により金額が変わります 2・10・20・40万円	手術の内容により金額が変わります 0.8・4・8・16万円
長 期 入 院 (270日以上連続した入院)	36万円	60万円	30万円
事 故 後 遺 障 害*3 (事故日から2年以内の所定の後遺障害状態)	障害の程度に応じて金額が変わります 14～350万円	障害の程度に応じて金額が変わります 28～700万円	障害の程度に応じて金額が変わります 14～350万円
病気死亡・重度障害*4	100万円	500万円	100万円
事故死亡・事故重度障害*4 (事故日から2年以内)	上にプラス 50万円	上にプラス 300万円	上にプラス 50万円
親扶養者死亡・親扶養者重度障害*4	4万円	20万円	4万円
扶養者事故死亡・扶養者事故重度障害*4 (事故日から2年以内)	100万円	700万円	100万円

*1 19歳までにジュニアコースへ加入いただいた方は、満29歳まで同コース間の変更(更改)が可能です。

大人向けコース(女性)

病気やケガの内容にかかわらず、入院時には女性入院時諸費用サポートで手厚く保障

■ 加入できる年齢（発効日時点）／性別 → 満20歳～満64歳／女性

■ 保障期間 → 満65歳の満期日まで
※満85歳まで《あいびらす》プラチナ85で保障が続けられます。

保 障 内 容	2000円コース(女性) 月掛金2,000円	3000円コース(女性) 月掛金3,000円	4000円コース(女性) 月掛金4,000円
病気入院・事故(ケガ)入院 (1日目から184日分)	日額 6,000円	日額 8,000円	日額 10,000円
女性入院時諸費用サポート (1日目から184日分)	上記の日額にプラス 日額 2,000円	上記の日額にプラス 日額 2,500円	上記の日額にプラス 日額 3,000円
事故(ケガ)通院*2 (事故日から180日以内 1日目から90日分)	日額 1,500円	日額 1,750円	日額 2,000円
手 術 (共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合)	手術の内容により金額が変わります 1・2・4・8万円	手術の内容により金額が変わります 1.5・3・6・12万円	手術の内容により金額が変わります 3・6・12・24万円
長 期 入 院 (270日以上連続した入院)	48万円	63万円	78万円
事 故 後 遺 障 害*3 (事故日から2年以内の所定の後遺障害状態)	障害の程度に応じて金額が変わります 4～100万円	障害の程度に応じて金額が変わります 8～200万円	障害の程度に応じて金額が変わります 12～300万円
病気死亡・重度障害*4	100万円	300万円	400万円
事故死亡・事故重度障害*4 (事故日から2年以内)	上にプラス 100万円	上にプラス 200万円	上にプラス 300万円
家族死亡・家族重度障害*4 (同居の親/扶養または同居する子/配偶者)	1・2・5万円		
住宅災害(火災等・風水害等) 一部焼損(20万円以上の被害)・床上浸水/半壊・半壊/全壊・全壊・流失	3・15・30万円		

CO・OP共済《あいぷらす》（定期生命共済）



死亡・重度障害等万が一の備えを充実させた共済です。手頃な掛金で最高3,000万円の生命保障が得られます。必要に応じて入院特約・がんの特約を付帯でき、自分にあった保障が設計できます。また、《たすけあい》との組み合わせでさらに保障を充実させることもできます。男女・年齢別の掛金で、共済期間は10年間（掛金は変わりません）、10年後の更新時には更新時の満年齢の掛金に変わります。更新手続きをしながら、満85歳まで保障を続けることができます。

組み合わせパターンは4種類

- 1 生命保障
- 2 生命保障 + 入院特約
- 3 生命保障 + 新がん特約
- 4 生命保障 + 入院特約 + 新がん特約

満18歳～満60歳の方

加入できる年齢（発効日の年齢）／性別	共済期間	掛金
満18歳～満60歳／男性・女性	10年間	加入時より10年間同じ

※満期時に契約を更新、もしくは共済期間内で契約を更改する場合はそのときの年齢の掛金になります。

生命保障

死亡・重度障害を保障。必ず保障金額をいずれか1つお選びください。

死亡・重度障害（病気・事故）						
300万円	500万円	1,000万円	1,500万円	2,000万円	2,500万円	3,000万円

入院特約

入院1日目からしっかりカバー！ どちらか1つお選びください。

	日額 5,000円	日額 10,000円
病気入院・事故（ケガ）入院* （1日目から180日分）	日額 5,000円	日額 10,000円
長期入院 （270日以上連続した入院）	30万円	60万円
手術 （共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合）	5・10・20万円 手術の内容により金額が変わります	10・20・40万円 手術の内容により金額が変わります

* 病気入院、事故（ケガ）入院それぞれ全共済期間（契約を更新・更改した場合を含みます）通算して1,000日が限度です。

新がん特約

がん治療共済金などで手厚くサポート！ どちらか1つお選びください。

	がん治療共済金 100万円	がん治療共済金 200万円
がん治療共済金*1 （2年に1回を限度として何度でも）	100万円	200万円
がん入院共済金 （1日目からの支払い、日数無制限）	日額 10,000円	
がん手術共済金 （共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合）	10・20・40万円 手術の内容により金額が変わります	
がん退院共済金*2	10万円	
がん通院共済金*3	日額 5,000円	

*1 1回目は、がんと診断確定した場合に支払います。2回目は、がんと診断確定された日から2年経過以降にがんによる入院をした場合に支払います。支払回数に制限はありません。

*2 20日以上連続した入院をして無事退院した場合。退院後180日以内の再入院にはがん退院共済金はお支払いしません。

*3 5日以上連続した入院の退院後180日以内の通院。1入院につき30日分まで。全共済期間（契約を更新・更改した場合を含みます）通算して1,000日が限度です。

満60歳～満70歳の方

加入できる年齢（発効日の年齢）／性別	共済期間	掛 金
満60歳～満69歳／女性・男性	10年間	加入時より10年間同じ*
満70歳／女性・男性	15年間	加入時より15年間同じ

* 満期時に契約を更新、もしくは共済期間内で契約を更改する場合はそのときの年齢の掛金になります。

生命保障

死亡・重度障害を保障。必ず保障金額をいずれか1つお選びください。

死亡・重度障害（病気・事故）	100万円	300万円	500万円
----------------	-------	-------	-------

●満60歳の方は生命保障1,000万円・1,500万円・2,000万円・2,500万円・3,000万円もお選びいただけます。

入院特約

入院1日目からしっかりカバー！ いずれか1つお選びください。

	日額 3,000円	日額 5,000円	日額 10,000円
病気入院・事故(ケガ)入院* (1日目から180日分)	日額 3,000円	日額 5,000円	日額 10,000円
長期入院 (270日以上連続した入院)	18万円	30万円	60万円
手術 (共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合)	手術の内容により金額が変わります 3・6・12万円	手術の内容により金額が変わります 5・10・20万円	手術の内容により金額が変わります 10・20・40万円

* 病気入院、事故(ケガ)入院それぞれ全共済期間(契約を更新・更改した場合を含みます)通算して1,000日が限度です。

新がん特約

がん治療共済金などで手厚くサポート！

	がん治療共済金 50万円
がん治療共済金*1 (2年に1回を限度として何度でも)	50万円
がん入院共済金 (1日目からの支払い、日数無制限)	日額 5,000円
がん手術共済金 (共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合)	5・10・20万円 手術の内容により金額が変わります
がん退院共済金*2	5万円
がん通院共済金*3	日額 2,500円

*1 1回目は、がんと診断確定した場合に支払います。2回目は、がんと診断確定された日から2年経過以降にがんによる入院をした場合に支払います。支払回数に制限はありません。

*2 20日以上連続した入院をして無事退院した場合。退院後180日以内の再入院にはがん退院共済金はお支払いしません。

*3 5日以上連続した入院の退院後180日以内の通院。1入院につき30日分まで。全共済期間(契約を更新・更改した場合を含みます)通算して1,000日が限度です。

※2013年9月1日以前に発効した「がん特約」と本ページの「新がん特約」は異なります。

※新がん特約の「責任開始日」は、申込日から91日目、または発効日のいずれか遅い日となります。

※掛金については、CO・OP共済オフィシャルホームページをご参照ください。▶ <https://coopkyosai.coop>

※本項の保障内容は概要です。募集のためのものではありません。

※詳細は商品パンフレット、重要事項説明書、ご契約のしおりをご覧ください。

CO・OP共済《あいぶらす》プラチナ85



満65歳～満70歳までの方がご加入でき、入院・死亡保障を満85歳まで継続いただけます。保障内容は加入時から満期まで変わりません。また、必要に応じて手術、死亡保障を上乗せすることができます。

保 障 内 容										
基本コース 月掛金	女性2型	男性2型	女性3型	男性3型	女性4型	男性4型	女性5型	男性5型	女性1型	男性1型
	2,000円		3,000円		4,000円		5,000円		1,000円	
入院したとき	3,000円	2,000円	4,500円	3,000円	6,000円	4,000円	7,500円	5,000円	1,500円	1,000円
死亡したとき	6万円	4万円	9万円	6万円	12万円	8万円	15万円	10万円	3万円	2万円
共済期間	満85歳の満期終了日まで									
新規加入できる 年齢 (発効日の年齢)	満65歳～満70歳								《たすけあい》 65歳満期時移行 専用コース	

※掛金の払込方法は月払のみです。 ※1名につき1契約のみ加入できます。

※1回の入院の支払限度日数は184日です。 ※重度障害共済金、長期入院共済金の保障はありません。

※解約返戻金はありません。 ※病氣入院、事故（ケガ）入院それぞれ全共済期間（契約を更改した場合を含む）通算して1,000日が限度です。

+ 次の特約を任意で付帯できます。

+ 手術サポート特約	月掛金：女性600円／男性800円
	手術1回につき一律2万円（共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合）
+ 死亡保障上乗せ特約	月掛金：女性600円／男性1,300円
	基本コースの死亡保障にプラス30万円
+ 先進医療特約	月掛金：性別にかかわらず100円
	先進医療1回あたり最高1,000万円（※先進医療共済金と先進医療一時金を合わせた支払限度額）

※特約は1名につきそれぞれ1口まで加入できます。 ※特約のみの加入はできません。

※《あいぶらす》プラチナ85に追加して個人賠償責任保険に加入できます。

個人賠償責任保険は、共栄火災海上保険株式会社を引受幹事保険会社とし、コープ共済連を団体保険契約者とする損害保険の団体契約です。

※本項の保障内容は概要です。募集のためのものではありません。

※詳細は、商品パンフレット、重要事項説明書、ご契約のしおりをご覧ください。

CO・OP共済《ずっとあい》（終身共済）



《ずっとあい》終身生命〈低解約返戻金型〉と《ずっとあい》終身医療の2つの商品からなる、一生涯保障の続く共済です。「終身共済を作ってほしい。やはり、信頼できるCO・OP共済で終身保障を備えたい。」「これからもずっと加入し続けたいと思うが、終身タイプのプランも作ってほしい。」などの組合員からの声に応じて誕生しました。0歳から満70歳までの方が加入でき、加入時から一生涯掛金は変わりません。

終身生命
〈低解約返戻金型〉

一生涯の生命保障
 掛金払込期間は60歳・65歳・70歳・80歳払込満了からお選びいただけます。

加入できる年齢（発効日の年齢）	共済期間	掛 金
0歳～満70歳	終身	加入時より一生涯同じ

※年齢により加入できるコース、選べる払込期間が違います。

加入できる年齢	0歳～満70歳まで			満15歳～満60歳まで	満60歳～満70歳まで
コース	200万円コース	300万円コース	500万円コース	1,000万円コース	100万円コース
死亡・重度障害（病気・事故）	200万円	300万円	500万円	1,000万円	100万円

※リビングニーズ共済金があります。

終身医療

一生涯の医療保障
 掛金払込期間は60歳・65歳・70歳払込満了・終身払からお選びいただけます。

加入できる年齢（発効日の年齢）	共済期間	掛 金
0歳～満70歳	終身	加入時より一生涯同じ

※年齢により加入できるコース、選べる払込期間が違います。

加入できる年齢	0歳～		満30歳～満70歳まで
	満70歳まで	満60歳まで	
コース	入院日額 5,000円コース	入院日額 10,000円コース	入院日額 3,000円コース
病気入院・事故(ケガ)入院* 1日目から180日分	日額 5,000円	日額 10,000円	日額 3,000円
手術 (共済事業規約に定める 支払対象手術を受けた場合)	手術の内容により金額が変わります 2.5・5・10・20万円	手術の内容により金額が変わります 5・10・20・40万円	手術の内容により金額が変わります 1.5・3・6・12万円

※病気入院、事故(ケガ)入院それぞれ全共済期間通算して1,000日が限度です。
 ※《ずっとあい》終身医療に解約返戻金はありません。
 ※掛金払込期間中に被共済者が重度障がい状態に該当したとき、それ以降の掛金の払い込みは免除となり、保障は一生涯続きます。

※本項の保障内容は概要です。募集のためのものではありません。
 ※各商品の詳細は商品パンフレット、重要事項説明書、ご契約のしおりをご覧ください。

CO・OP学生総合共済 (G1200コース) (学生総合共済)

CO・OP共済
学生総合共済

行動範囲が大きく広がる大学生・専門学校生。予期せぬ治療費だけでなく、保護者の方が万が一の場合に学業継続に必要な費用への備えがあると安心です。

■加入できる年齢(発効日時点)／満18歳以上満34歳以下(大学生・専門学校生) ※加入申込期限は卒業予定年月の前月末日までです。
■保障の終了日／卒業予定年月の末日(最長満35歳の満期日まで)

保 障 内 容	G1200コース 共 済 金 額
病気入院・事故(ケガ)入院(1日目から360日分)	日額 10,000円
事故(ケガ)通院(事故日から180日以内 1日目から90日分)	日額 2,000円
手術(共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合)	1回の手術につき 50,000円
長期入院(270日以上連続した入院)	60万円
重度後遺障害(病気・事故問わず)	障害の程度に応じて金額が変わります 最高 600万円
事故後遺障害(事故日から2年以内の所定の後遺障害状態)	障害の程度に応じて金額が変わります 最高 600万円
死亡(病気・事故問わず)	100万円
事故死亡(事故日から2年以内)	上記にプラス 50万円
親扶養者死亡・親扶養者重度障害	50万円
扶養者事故死亡・扶養者事故重度障害(事故日から2年以内)	500万円
学業復帰支援臨時費用(重度後遺障害を負って復学した場合)	共済期間(1年)につき1回 100万円
こころの早期対応保障(精神疾患の診療を受けたとき)	共済期間(1年)につき1回 10,000円

新社会人コース B1200コース (学生総合共済)

CO・OP共済
学生総合共済

大学・専門学校を卒業後は、健康状態にかかわらず《学生総合共済》の加入者専用の「新社会人コース」へ継続できます。また、30歳の満期後も健康状態にかかわらずCO・OP共済《たすけあい》へ継続可能です。

■加入できる年齢(発効日時点)／満29歳まで(G1200コース等からの更新・更改専用契約) ■保障期間／満30歳の満期日まで

保 障 内 容	B1200コース 共 済 金 額
病気入院・事故(ケガ)入院(1日目から360日分)	日額 10,000円
事故(ケガ)通院(事故日から180日以内 1日目から90日分)	日額 2,000円
手術(共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合)	1回の手術につき 50,000円
長期入院(270日以上連続した入院)	60万円
重度後遺障害(病気・事故問わず)	障害の程度に応じて金額が変わります 最高 600万円
事故後遺障害(事故日から2年以内の所定の後遺障害状態)	障害の程度に応じて金額が変わります 最高 600万円
死亡(病気・事故問わず)	100万円
事故死亡(事故日から2年以内)	上記にプラス 50万円
親扶養者死亡・親扶養者重度障害	5万円
扶養者事故死亡・扶養者事故重度障害(事故日から2年以内)	50万円

※CO・OP学生総合共済(地域生協からの加入のみ)に追加して個人賠償責任保険に加入できます。

個人賠償責任保険は、共栄火災海上保険株式会社を引受幹事保険会社とし、コープ共済連を団体保険契約者とする損害保険の団体契約です。

※本項の保障内容は概要です。募集のためのものではありません。

※詳細は商品パンフレット、重要事項説明書、ご契約のしおりをご覧ください。

CO・OP生命共済《新あいあい》 （個人長期生命共済） 契約引受団体／こくみん共済 coop（全労済）

CO・OP生命共済
新あいあい

死亡保障（最高 疾病死亡2,000万円、災害死亡4,000万円まで）、満期金を中心とした基本契約に、入院・手術・医療保障の特約を組み合わせることで、ご自身に合った保障を設計できる共済です。5年満期更新型で5年後には満期金に戻ってきます（最高500万円まで）。更新することで、最長満80歳まで保障を継続できます。

CO・OP火災共済 （風水害等給付金付火災共済・自然災害共済） 契約引受団体／こくみん共済 coop（全労済）



火災、消火作業による冠水・破壊、落雷、破裂・爆発、他人の車両の飛び込み、他人の住居からの水ぬれ、突発的な第三者の直接加害行為、建物外部からの物体の落下・飛来、風水害などから、住まいと家財を保障する共済です。家財だけでも加入でき、自然災害に対する保障を確保する「自然災害共済」を付帯することもできます。

マイカー共済 （自動車総合補償共済） 契約引受団体／こくみん共済 coop（全労済）

マイカー共済

安全運転を続ける優良ドライバーに優しい、最大22等級・掛金65%割引や、お子様が運転する場合に嬉しい子供特約など、各種割引制度や特約を取り揃えています。また、安心のサポート体制で突然の車のトラブルにも24時間365日対応します。

生協の組合員向け団体保険

生協では、保障に対するさまざまなニーズに対応するため、CO・OP共済のほかに各保険会社の団体保険をご案内しています。団体保険とは、コープ共済連を団体保険契約者とする損害保険の団体契約で、団体割引を使った割安な保険料で組合員に提供しています。

個人賠償責任保険

日常生活における偶然な事故で、他人にケガをさせたり、他人の物を壊したりしたことなどで、法律上の賠償責任を負った場合に、1事故につき3億円を上限として保険金をお支払いします。1世帯の1人が加入すれば、ご家族全員を保障します。

※CO・OP共済《たすけあい》、CO・OP共済《あいがらす》プラチナ85・ゴールド85・ゴールド80、CO・OP学生総合共済（地域生協からの加入のみ）、新社会人コースに追加して加入できます。

新コープのケガ保険

入院を伴うケガ等に対して、保険金をお支払いします。すべての年齢の方がご加入できる「傷害一時金プラン」と、65歳未満の方がご加入できる「入院日額プラン」があります。

※一部の生協では取り扱いがございません。

1 CO・OP共済とは

2 トビックス

3 2024年度の事業と経営の概況

4 CO・OP共済商品の紹介

5 CO・OP共済のご加入とお支払い

6 組合員の声にもとづく事業運営

7 大学生協の取り組み

8 リスク管理・コンプライアンスの取り組み

9 組合員・利用者へのサポート

10 社会的取り組み

11 コープ共済連および子会社の組織概要

コープの介護保険

ケガや病気などにより公的介護保険制度の要介護2から5の認定を受けた場合、または引受保険会社所定の要介護状態に該当した日からその日を含めて30日を超えて継続した場合に「介護一時金」をお支払いします。主な特徴は、3つの告知事項で加入しやすいこと、40歳未満の公的介護保険の対象外の年齢の方も加入できることです。

※一部の生協では取り扱いがございません。

コープの三大疾病保険

0歳（生後15日以降）から満84歳まで加入を申し込み、三大疾病（がん、急性心筋梗塞、脳卒中）のリスクに対して一時金で備えることができます。主な特徴は、2つの告知事項で加入しやすいこと、100歳まで補償が継続できることです。

※一部の生協では取り扱いがございません。

コープのお給料補償保険

ケガや病気によって長期間働くことができなくなってしまった場合に、65歳まで一定程度の収入を補償する保険です。主な特徴は、3つの告知事項で加入しやすいこと、うつ病などの精神障害による就業不能も補償されることです。

※一部の生協では取り扱いがございません。

学生賠償責任保険（一人暮らし特約なし・一人暮らし特約あり）

学生組合員の日常生活および実習中（正課の講義・アルバイト・インターンシップ等）における賠償事故を国内・海外を問わず保障する保険です。また、一人暮らし特約ありは水もれ等による借用住宅への賠償事故や、火災・水ぬれによる家財の損害、借用敷地内における家財や現金・自転車等の盗難にも対応します。

※大学生協の学生組合員が加入できます。

就学費用保障保険

扶養者が病気やケガで死亡した場合やケガで重度障がいを負って、学生組合員本人が扶養者に扶養されなくなった場合の授業料や教材費等の学資費用（実費）を卒業予定年まで毎年保障する保険です。

※大学生協の学生組合員が加入できます。